

# 今年も全国各地で様々なイベントが開催されました！ 「木づかい推進月間」での取組

林野庁では、木材を利用することの意義をみなさまに知っていただき、暮らしの中に木の製品を取り入れることで、日本の森林を元気にする運動として「木づかい運動」を進めています。10月8日を漢字で書くと、十と八で「木」の日ということで、10月を「木づかい推進月間」とし、行政や各種団体、企業等とともに、「木づかい」の推進に関する様々なイベントを集中的に展開しています。今回は、そんな「木づかい推進月間」の中で取り組まれた、いくつかのイベントについてご紹介します。



講師の「et vous?」岡部さん。講座では、岡部さんのレストランで使用しているヒノキの器に、きのこ秋ナスのマリネを盛り付けていただきました。



JA全中、全国森林組合連合会、農林中央金庫、林野庁が連携、またもりかみ協議会、森林総合研究所に御協力いただき当イベントを開催。農林中央金庫、林野庁はそれぞれが取り組む木材利用についてご紹介しました。



岡部さんお手製、山をテーマにした優しい味のお弁当。お弁当箱は大分県・日田杉でできたもの。



「木づかい」のヒントをたくさんいただきました。お話しただくなど、食卓を彩る「木づかい」のヒントをたくさんいただきました。お話しただくなど、食卓を彩る「木づかい」のヒントをたくさんいただきました。

「食×木で木づかい推進！」  
「木さわりのやさしい食卓」窓から見える遠くの山を食卓に」  
10月4日、東京・大手町のJ Aビルにある農業・農村ギャラリーミノーレにて、「食×木」をテーマにした講座「木さわりのやさしい食卓」窓から見える遠くの山を食卓に」を開催し、近隣のオフィスで働く女性など約50名の方に参加いただきました。  
講師は、浅草にあるレストラン「et vous?」のオーナーシェフ 岡部勝義さん。岡部さんには、参加者に提供した、山をテーマにしたお弁当のなかの一品「きのこ秋ナスのマリネ」を実際に調理説明いただきつつ、ご自身のレストランでの「木づかい」についてご紹介いただきました。岡部さんのレストランでは、オードブルの提供に岐阜・加子母のヒノキの器を使用。「木の器を使うと、手触りが優しく、香りでやすらぐので、お料理を受け入れやすくなります。」とお話しただくなど、食卓を彩る「木づかい」のヒントをたくさんいただきました。



三重県アンテナショップ「三重テラス」では、尾鷲ヒノキの香りを活かしたスプレーや入浴木など、リラックスできる商品を販売。



奈良県アンテナショップ「奈良まほろば館」では、県産材でできた什器を活用。



みなさまに店舗を巡っていただくべく、「TOKYO アンテナショップ木づかいマップ」を作成しました！



長野県アンテナショップ「銀座 NAGANO」では、県産材を活用した木製品を販売しているほか、店内で使用している家具を作った長野県の木工場の紹介も行われていました。



「日本各地の様々な木を活かした製品と出会う」  
「都道府県アンテナショップから「木づかい」を推進」  
木材の一大消費地である都心での「木づかい」を進めることを目的に、各都道府県アンテナショップに協力いただき、「木づかいコーナー」を設置いただくなど、各地の木材を活かした製品の展示・販売を実施いただきました。  
スギやヒノキ、ブナ、ナラなど地域の様々な樹種の材を活用した、家具やおもちゃ、まな板やお箸などの雑貨が、アンテナショップ店頭にも並びました。たくさんのお客様が、木製品を眺めたり、手にとり触っていらっしゃいました。  
日本橋とやま館や、銀座NAGANO、奈良まほろば館など地域材を用いた空間づくりに取り組むショップも多くあるので、ぜひ足を運んでみてください。

このほかにも、まだまだ全国各地で木づかい・木育イベントが開催されています。ぜひ、お近くのイベントに足を運んでみてください。詳しくは、林野庁HPのイベント情報をご覧ください！  
(<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/event.html>)



静岡県に木のおもてなし施設ができました！

## - 日本平夢テラス -



3階の展望ステージ。大和張りの外壁、日本の神社建築を思わせる屋根には静岡県産のスギ、ヒノキを活用。正八角形の建物を囲うようにデッキが配置されており、360度景色を楽しめる。晴れた日には、遠くに富士山や清水港を眺めることができる。



建物に入り上を見上げると、木材(ヒノキ製材)と鉄骨を組み合わせて組まれた、美しい木架構の天井が見える。

設計は、いづれも隈研吾建築都市設計事務所、展望棟の施工は、木内建設株式会社。展望棟は3階建ての鉄骨造で、中央が吹き抜けになっています。屋根は木造で一部鉄骨を組み合わせた構造になっており、外壁や階段、天井ルーバーなどにも木がふんだんに使用されています。

当施設の設計に携わられた建築家隈研吾氏にお話を伺いました。「富士山や駿河湾を望む360度の絶景をとりこむために、法隆寺夢殿にヒントを得た八角形平面を採用しました。静

設計は、いづれも隈研吾建築都市設計事務所、展望棟の施工は、木内建設株式会社。展望棟は3階建ての鉄骨造で、中央が吹き抜けになっています。屋根は木造で一部鉄骨を組み合わせた構造になっており、外壁や階段、天井ルーバーなどにも木がふんだんに使用されています。

今秋、静岡県静岡市にある名勝地・日本平の山頂に、駿河湾越しに富士山を望む美しい景色を眺めることができ、また日本平の歴史的・文化的価値や魅力を発信する施設「日本平夢テラス」が新しくオープンしました。

木の魅力や、職人の技術を直に感じることができる。静岡の新たな木のランドマークにぜひ足を運んでみて下さい。

木の魅力や、職人の技術を直に感じることができる。静岡の新たな木のランドマークにぜひ足を運んでみて下さい。

岡県産材のヒノキを用い、傘のような架構の美しさと、富士山の稜線にヒントを得た大らかな屋根が特徴です。」

また、木部の施工に携わられた菊池建設株式会社 淀川祐之氏にもお話を伺いました。



浮遊感のある木の階段。階段も鉄骨を下地に、パズルのように木を組み込んでいる。

2018年11月3日オープン！  
「日本平夢テラス」

住所：静岡県静岡市清水区草薙600番1  
開館日：日～金 9:00-17:00  
土 9:00-21:00(夜景も見えるよ！)  
(休館日：毎月第2火曜日、12/26-31)  
入館料：無料



正八角形の建物外観と展望回廊(静岡県提供)

